

中城村人口ビジョン（案）

平成 27 年 11 月

中城村

目 次（案）

．人口の現状分析
1．人口の推移
(1) 総人口
(2) 年齢3区分別人口と将来推計人口
2．人口増減の推移
(1) 人口増減率
(2) 自然増減と社会増減
(3) 自然増減
(4) 社会増減
3．地区別の状況

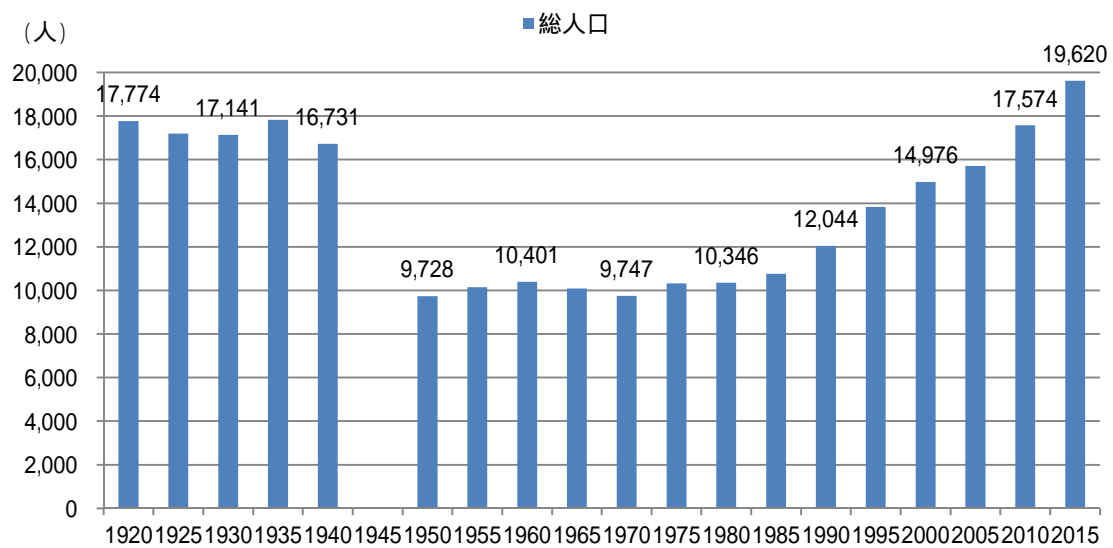
．人口の将来展望
1．村民の意識・希望
(1) 定住に関する意識調査
(2) 結婚・出産・子育てに関する意識調査
2．目指すべき将来の方向
3．人口の将来展望

1. 人口の推移

(1) 総人口

- 戦後から 1980 年頃までは横ばいで推移してきたが、1980 年代以降、増加基調となり、現在まで続いている。
- 2015 年 10 月末時点の人口は 19,620 人。中城村第四次総合計画における 2016 年の計画人口 19,500 人を上回るペースで増加している。

図表 1 人口推移 (1920 ~ 2015 年)

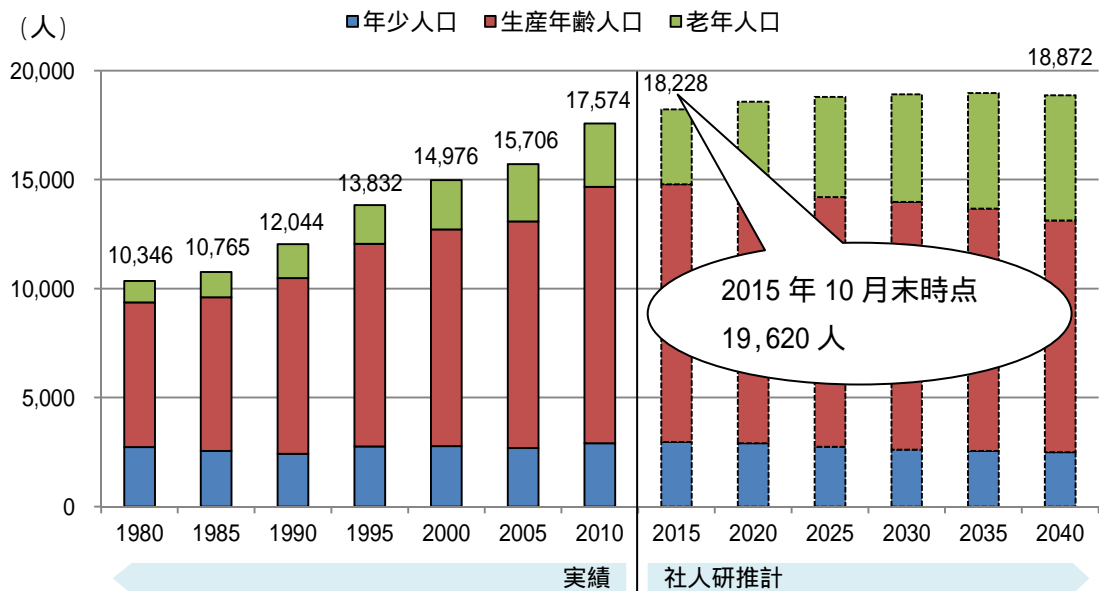


総務省「国勢調査」(1920~2010年) 中城村「住民基本台帳」(2015年10月末時点)
1945年はデータなし

(2) 年齢3区分人口と将来推計人口

- 生産年齢人口（15～64歳）と老年人口（65歳以上）は増加基調で推移している。
- 総人口が増加基調にあるなか、年少人口（0～14歳）はほぼ横ばいで推移している。その割合は年々減少し、2010年では16.5%まで下がり、老年人口とほぼ同じ割合となっている。
- 老年人口の割合は、1980年の9%から2010年には16.6%まで増え、高齢社会の状態にある。
- 社人研による2015年の推計人口は18,228人となっており、2015年10月時点で、この推計を約1,400人上回っている。
- 年齢別人口の将来推計をみると、年少人口と生産年齢人口が緩やかに減少するなか、老年人口の著しい増加が見込まれる。2040年には老年人口は30%に達すると予測される。

図表2 年齢3区分別人口の推移と将来推計人口



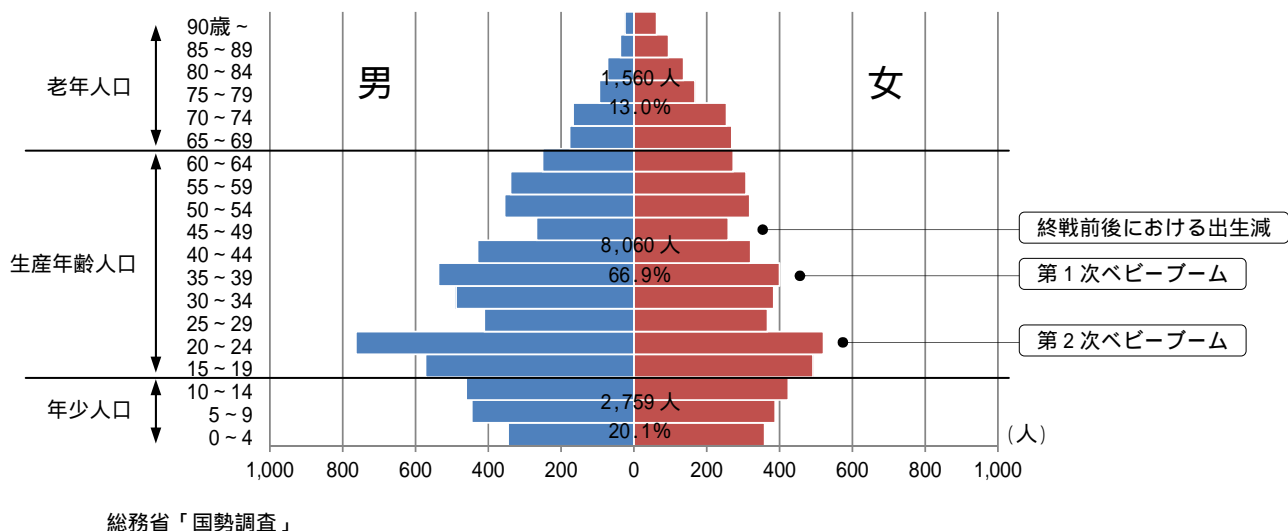
年齢3区分別人口の割合 (%)

年少人口	26.4	23.8	20.1	19.9	18.5	17.1	16.5	16.3	15.6	14.6	13.8	13.4	13.2
生産年齢人口	64.2	65.4	66.9	67.2	66.4	66.2	66.9	64.9	62.5	60.9	60.1	58.6	56.3
老年人口	9.4	10.8	13.0	12.8	15.1	16.7	16.6	18.9	21.9	24.5	26.1	27.9	30.5

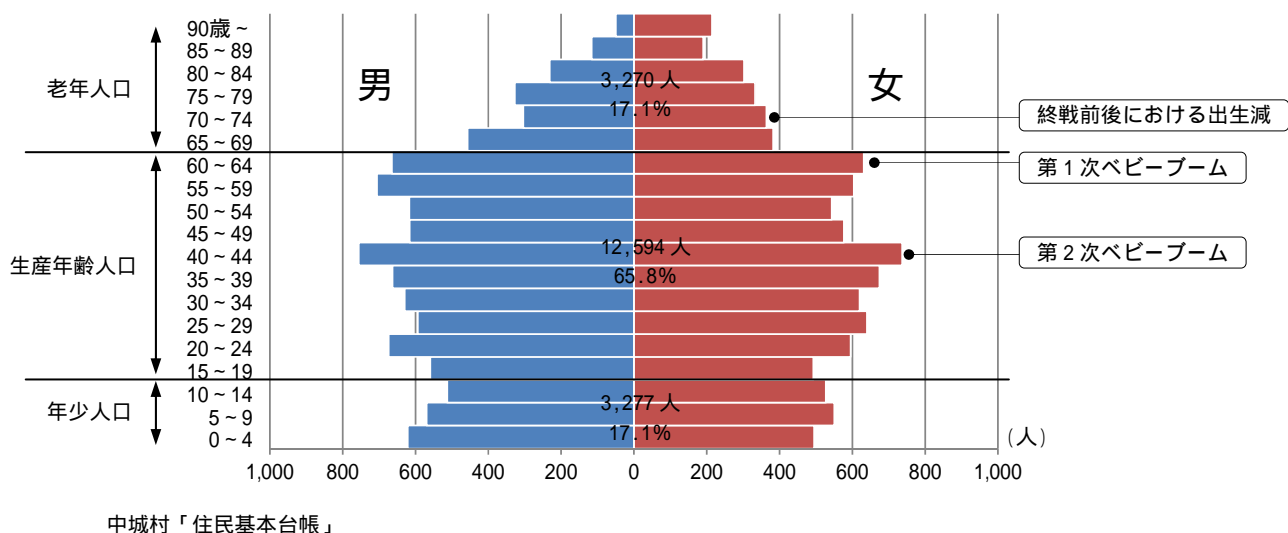
総務省「国勢調査」(1980～2010年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2015～2040年)、中城村「住民基本台帳」(2015年10月末時点)

図表3 人口ピラミッドの変化

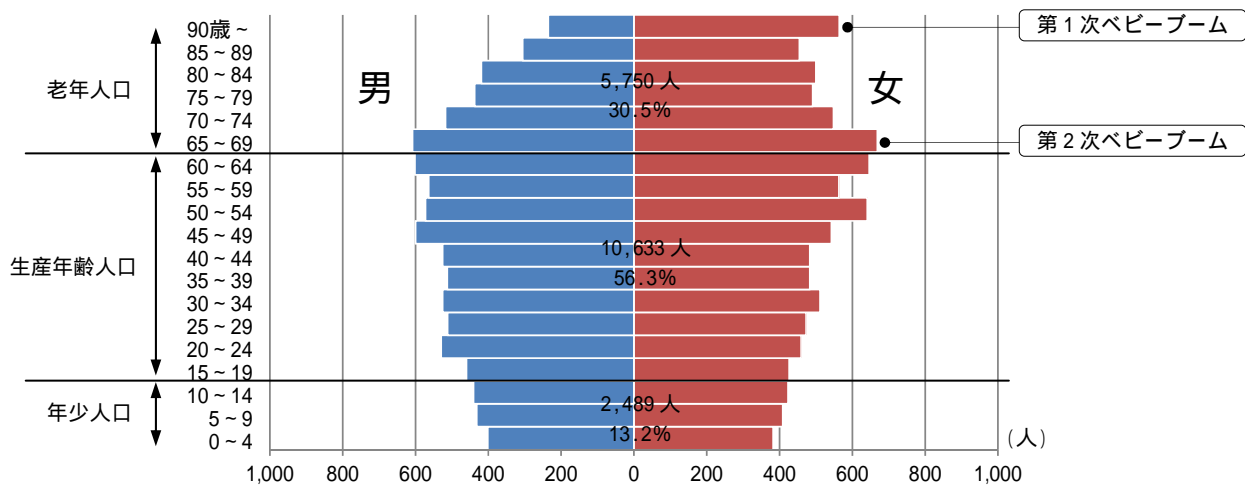
1995年：人口 12,044人



2015年：人口 19,141人



2040年：人口 18,872人 (推計)



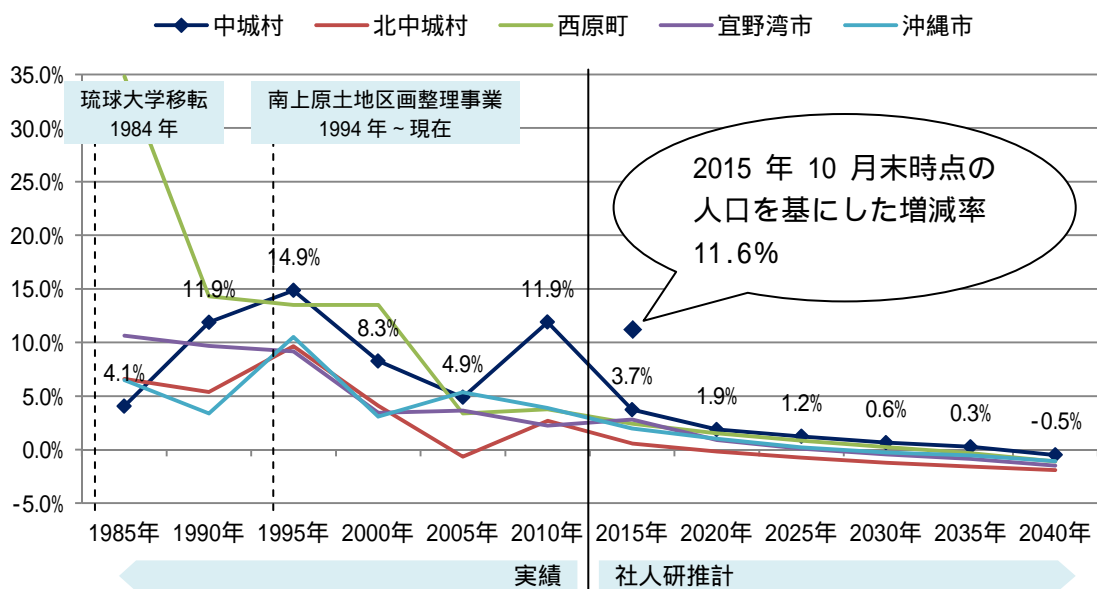
2. 人口増減の推移

(1) 人口増減率

全国でも高い増減率

- 国勢調査による 2005～2010 年の「人口増減率順位」では、全国 10 位（増加率 11.9%）に位置し、人口が増加基調にある沖縄県でも高い増加率を示した。
- 2015 年 10 月時点の人口を基にした算出では、2010～2015 年の増加率は 11.6% であり、社人研の推計値 3.7% を上回る伸び率となっている。
- 長期的には、中城村・近隣市町村ともに伸び率は徐々に減少し、中城村では 2035～2040 年にかけて、マイナスに転じることが見込まれる。

図表 4 中城村及び近隣市町村の人口増減率の推移



総務省「国勢調査」(1985～2010年)

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2015～2040年)

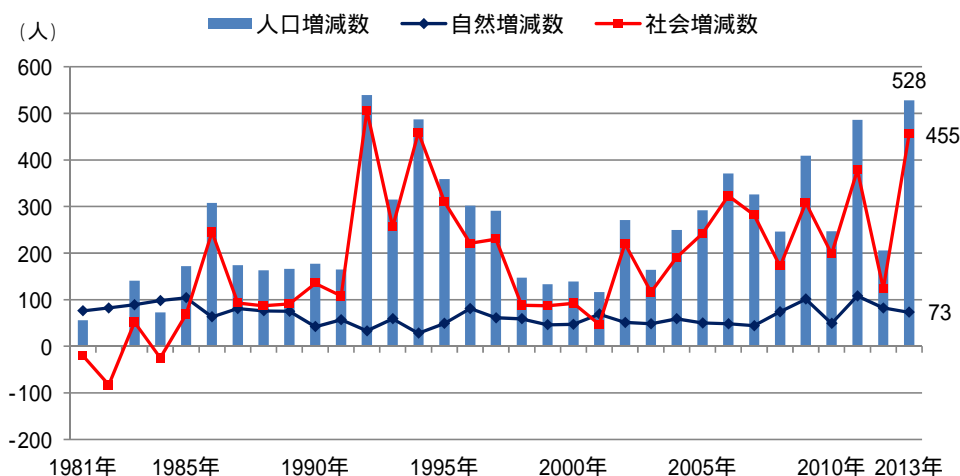
中城村「住民基本台帳」(2015年10月末時点)

(2) 自然増減と社会増減

社会増による人口増加

- 1985年から2013年までの28年間の累計数をみると、自然増1,817人、社会増6,132人となっており、この期間の人口増加は、社会増の寄与が大きい。沖縄県全体をみると、転入と転出はほぼ均衡しており、現在までの県人口の増加は自然増によるものである。本村の人口増減の特徴として、社会増による人口増加があげられる。

図表5 自然増減数・社会増減数の推移

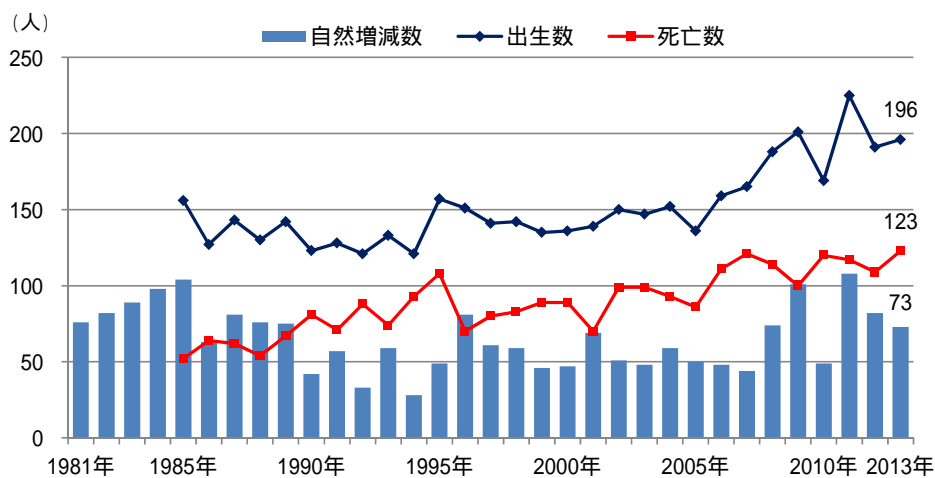


1981～1994年は沖縄県「市町村別人口増減数」、1995～2013年は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

(3) 自然増減

- 出生数・死亡数とも緩やかに増加している。
- 現在までは出生数が死亡数を上回り、自然増の状態が続いている。

図表6 出生数・死亡数の推移



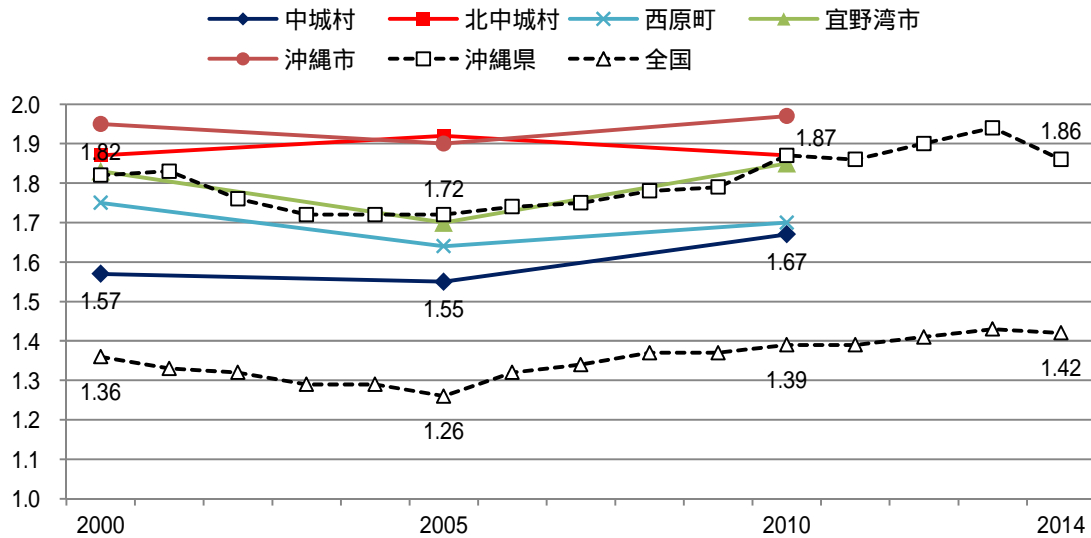
1981～1994年は沖縄県「市町村別人口増減数」、1995～2013年は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

- 本村の合計特殊出生率（2000～2010年）をみると、全国で最も高い沖縄県の値を下回る状態で推移している。沖縄県も含め、人口置換水準（2.07）には達していない。

- 北中城村や宜野湾市などの近隣市町村のなかでは最も低い水準となっている。

合計特殊出生率：15歳から49歳の女性の年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを産むかを表す。

図表7 合計特殊出生率の推移



中城村、北中城村、西原町、宜野湾市、沖縄市：厚生労働省「人口動態調査」(1998～2002年、2003～2007年、2008～2012年)

沖縄県、全国：厚生労働省「人口動態調査」

図表8 県内41市町村の合計特殊出生率（2008～2012年）

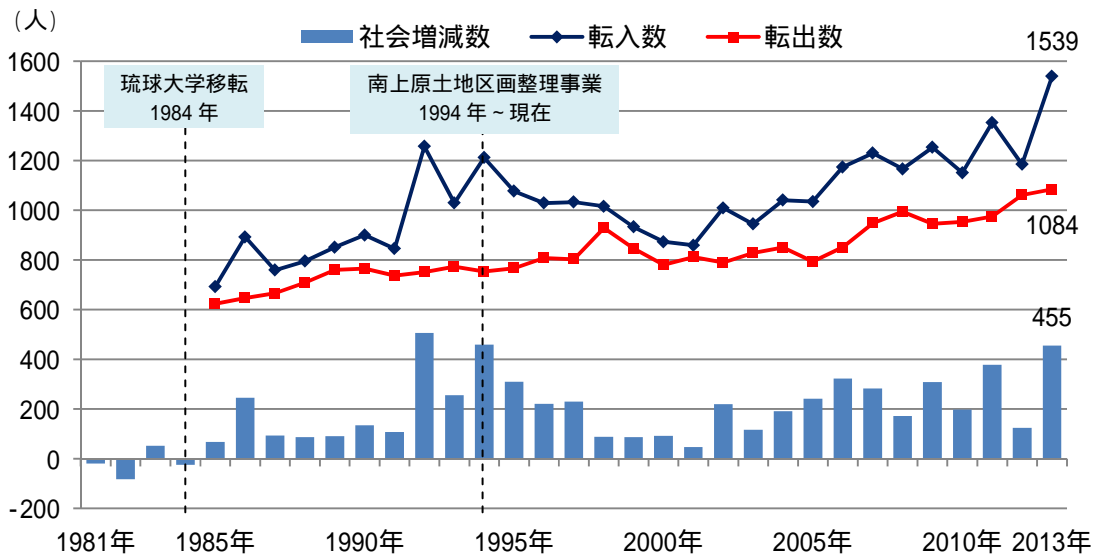
1位	2.31	久米島町
2位	2.27	宮古島市
3位	2.20	宜野座村
4位	2.17	金武町
...		
11位	1.97	沖縄市
...		
37位	1.70	西原町
...		
39位	1.67	中城村
40位	1.63	恩納村
41位	1.63	那覇市

厚生労働省「人口動態調査」(2008～2012年)

(4) 社会増減

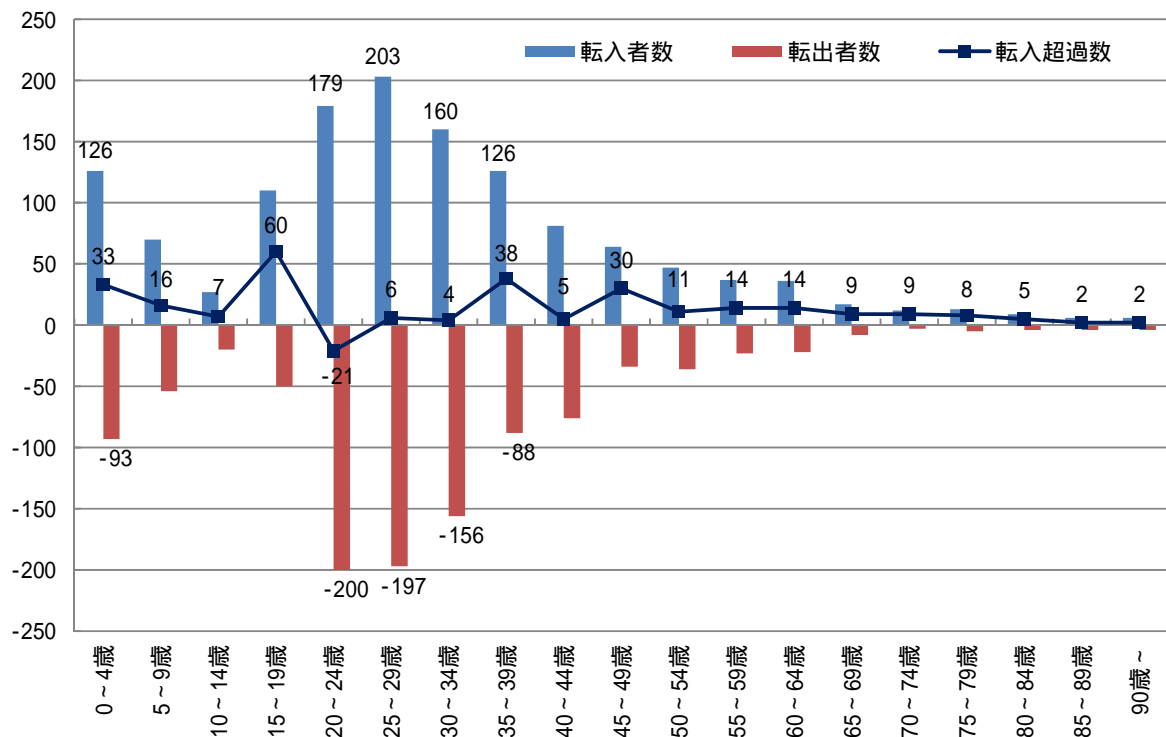
- 1985年までは転入と転出が均衡する状況であったが、以後、転入が転出を上回り、現在まで社会増が続いている。
- 転入超の要因として、1984年の琉球大学移転と、1994年から現在まで続く南上原土地区画整理事業による転入が考えられる。

図表9 転入・転出数の推移



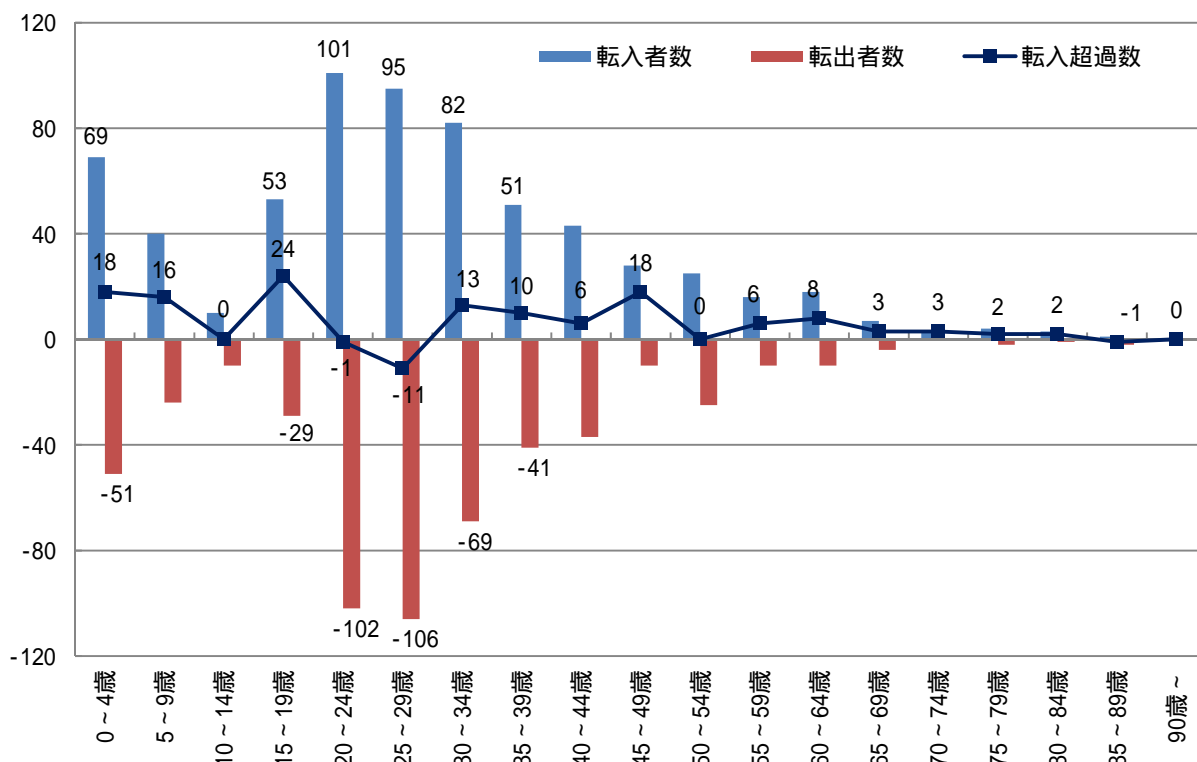
1985～1994年は沖縄県「市町村別人口増減数」、1995～2013年は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

図表10 年齢別の転入・転出状況(2014年)



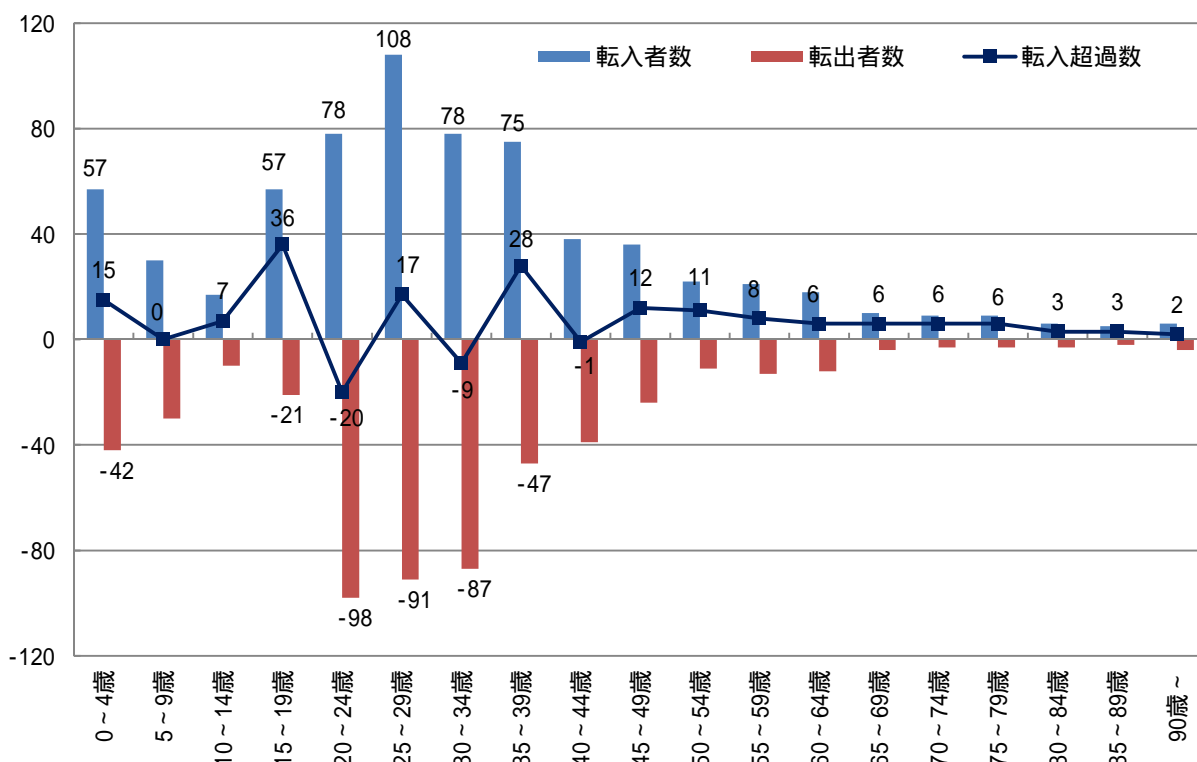
総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2014年)

図表 11 年齢別の転入・転出状況（男性）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2014年)

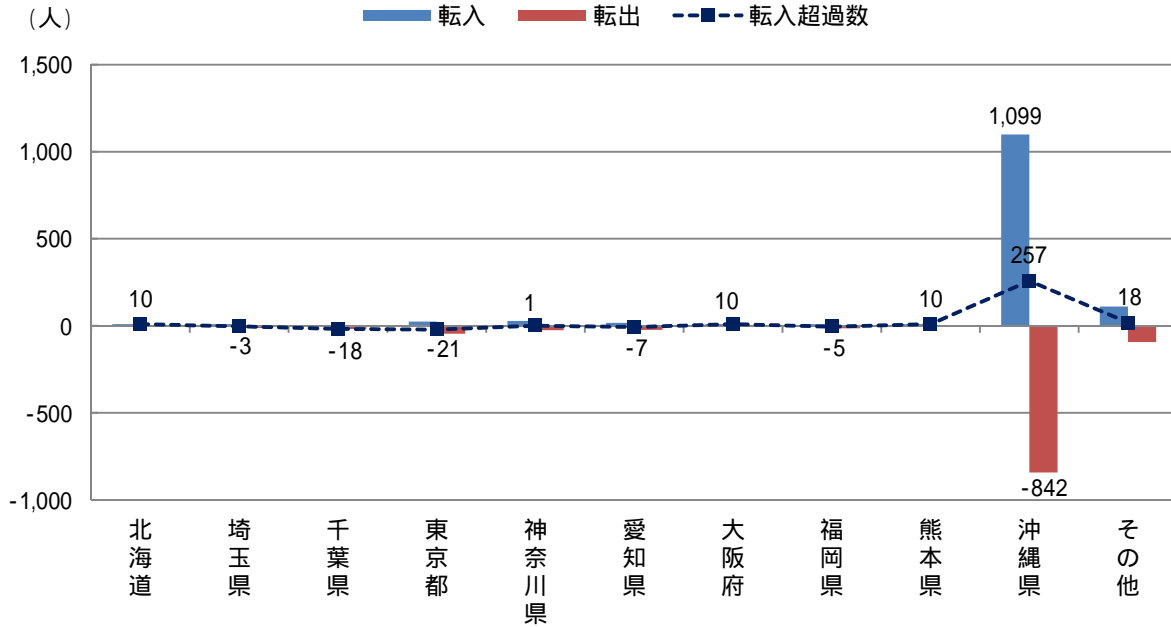
図表 12 年齢別の転入・転出状況（女性）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2014年)

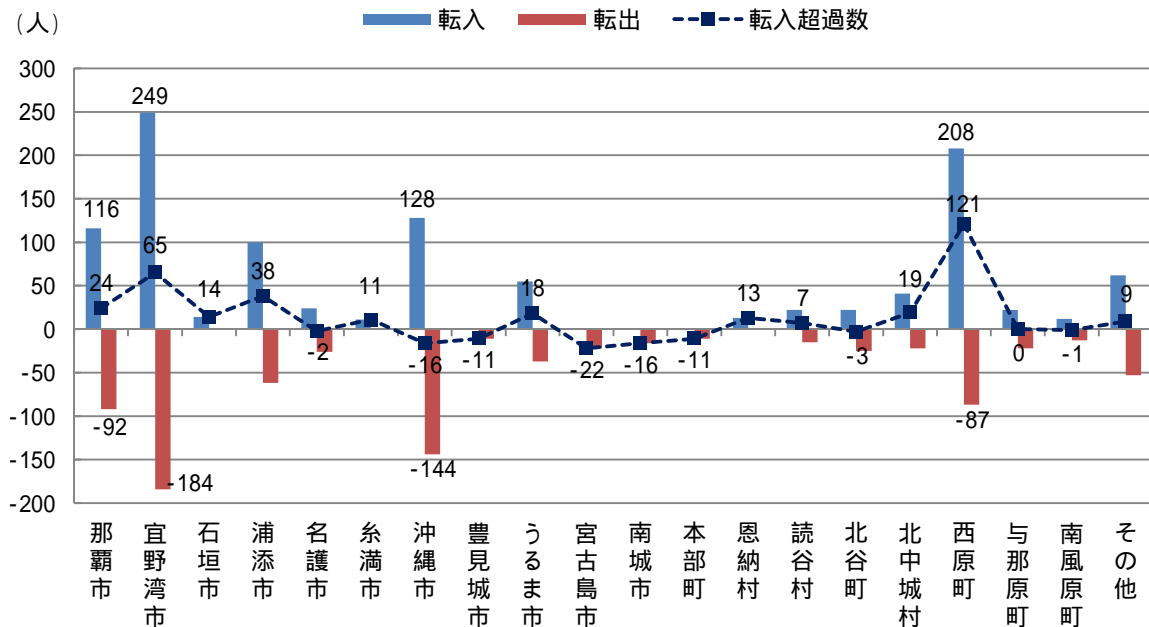
- 都道府県別では、沖縄県内における転入・転出が突出している。
- 県内の市町村別では、宜野湾市、西原町、沖縄市、那覇市との人口移動が多い。

図表 13 都道府県別の転入・転出状況（2014年）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2014年)

図表 14 近隣市町村別の転入・転出状況（2014年）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2014年)

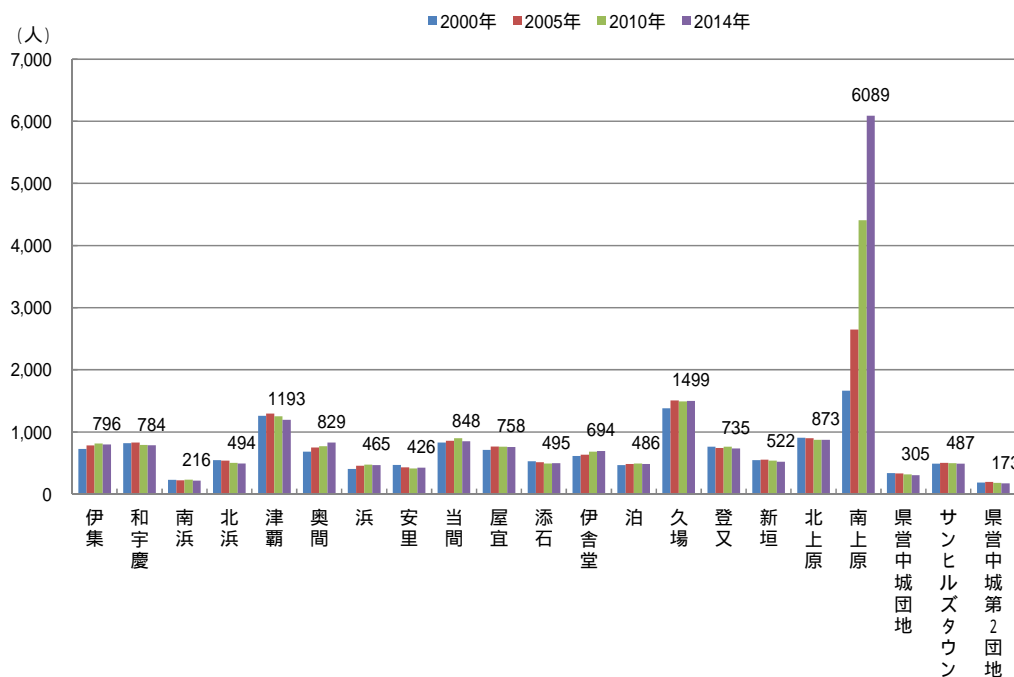
3. 地区別の状況

- 2014年の南上原地区の人口は6,089人で、村人口(19,167人)の32%に達した。
- 過去10年、南上原地区の人口は年9.0%のペースで増加しており、村の人口動態に大きく影響している。
- 南上原以外の地区の人口は、微増微減を繰り返し推移している。

図表 15 地区別の人口

地区名	人口(人)	割合(%)	地区名	人口(人)	割合(%)
伊集	796	4.2	伊舎堂	694	3.6
和宇慶	784	4.1	泊	486	2.5
南浜	216	1.1	久場	1,499	7.8
北浜	494	2.6	登又	735	3.8
津覇	1193	6.2	新垣	522	2.7
奥間	829	4.3	北上原	873	4.6
浜	465	2.4	南上原	6,089	31.8
安里	426	2.2	県営中城団地	305	1.6
当間	848	4.4	サンヒルズタウン	487	2.5
屋宜	758	4.0	県営中城第2団地	173	0.9
添石	495	2.6			

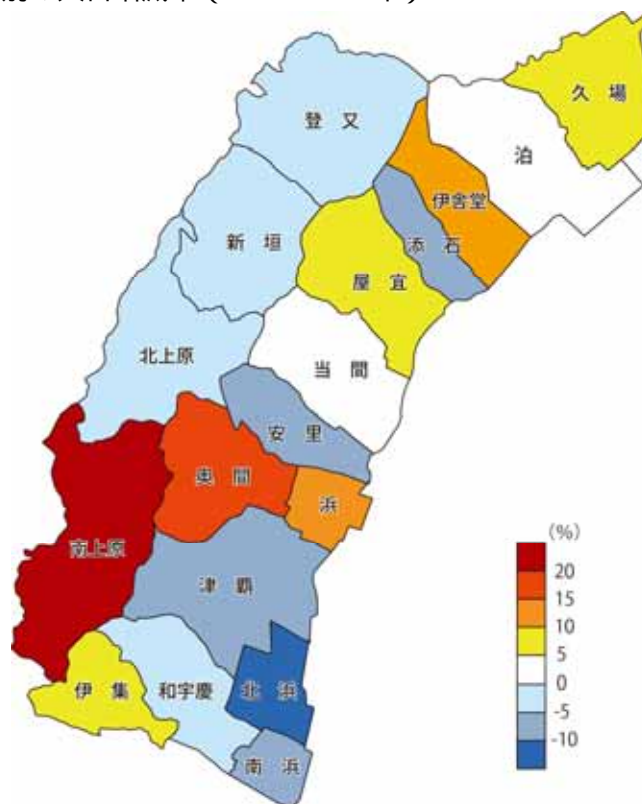
図表 16 地区別の人口推移(2000~2014年)



中城村「住民基本台帳」(2000~2014年)

図表 17 地区別の人口増減率（2000～2014年）

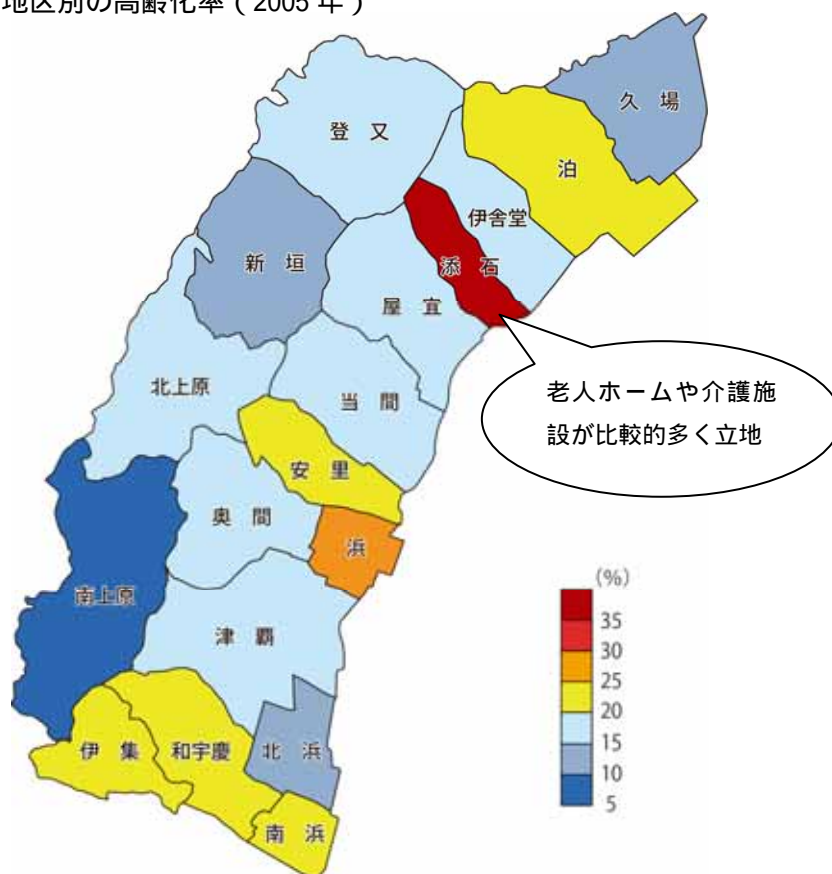
地区名	増減率（%）
伊集	9.0
和宇慶	-4.2
南浜	-6.5
北浜	-10.3
津覇	-5.6
奥間	17.7
浜	12.7
安里	-9.6
当間	2.2
屋宜	6.5
添石	-6.9
伊舎堂	11.8
泊	4.3
久場	7.9
登又	-3.5
新垣	-4.6
北上原	-3.7
南上原	72.7



中城村「住民基本台帳人口及び世帯数」(2000～2014年)

図表 18 地区別の高齢化率（2005年）

地区名	高齢化率（%）
村全体	16.6
伊集	22.6
和宇慶	21.4
南浜	21.4
北浜	14.9
津覇	15.4
奥間	16.9
浜	29.9
安里	20.8
当間	17.8
屋宜	15.9
添石	44.3
伊舎堂	15.2
泊	20.2
久場	13.4
登又	16.8
新垣	14.2
北上原	19.6
南上原	7.2



総務省「国勢調査」(2005年)